

英語利用中学入試 テスト分析

※開智日本橋学園中学校(帰国生)※

～概要～

- ・**試験形式**：英語（Writing Section）、面接、算数、国語で構成される。：英語の試験時間は 50 分。試験名は「Writing Section」だが、実態は「読解+記述」の総合問題である。
- ・**設問概要**：[Part 1] Reading Comprehension（長文読解、語彙、図表読み取り、根拠の抜き出し）：[Part 2] Short Response #1（画像分析・エビデンス記述）：[Part 3] Short Response #2（意見記述・経験と本文の統合）
- ・**時間配分予想**：50 分という短い時間の中で、約 500 語の長文を読み、かつ記述（ライティング）を 2 本仕上げる必要があるため、極めて高いタイムマネジメント能力が求められる。

～Part 1: Reading Comprehension～

- ・**形式**：説明文（Green Spaces）を読み、内容一致や適語補充を行う。
- ・**ポイント**：特徴的なのは "Write one sentence exactly as it appears in the passage"（本文通りに一文を書き抜きなさい）" という指示。本文の根拠（エビデンス）を正確に特定し、スペルミスなく書き写す精緻さが求められる。

～Part 2: Short Response #1(画像分析)～

- ・**形式**：2 枚の画像（公園の風景とビル街の風景など）を見て、読解文（Green Spaces）の内容を理解するのに最も役立つ画像を選び、本文の証拠（Evidence）を使って理由を書く。
- ・**ポイント**：視覚情報とテキスト情報を結びつける力（Visual Literacy）が問われる。単なる感想ではなく、本文の内容を引用して論証する必要がある。

～Part 3: Short Response #2(意見記述)～

- ・**形式**：読解トピックに関連した質問（学校に緑地を持つべきか？）について、自分の経験と本文の情報を使って答える。
- ・**ポイント**：Information from the reading passage（本文の情報）と own experiences（自分の経験）の両方を盛り込むことが条件。

～総評～

- ・**傾向**：IB（国際バカロレア）校の特徴が色濃く出ており、単なる英語の流暢さだけでなく、「探究スキル」と「学術的な作法」が重視されている。特に「証拠（Evidence）の提示」や「情報の正確な引用」が合格の鍵となる。：最大の特徴は「根拠の引用」や「画像とテキストの統合」といった特殊なタスクが求められることです。インター TOMAS では、完全 1 対 1 の個人別カリキュラムで生徒一人ひとりの答案を細かく添削し、IB 特有の「根拠に基づく記述（Evidence-based Writing）」を習得させるための最短最速の指導が可能です。